



# やわらぎ会通信 Vol.77

冬の山の葉を落とした木々が、薄紫色にぼんやりと包まれる季節となりました。硬かった冬芽が少しゆるんでくるのでしょうか。『どこかで春が生まれてる』と小学校で歌ったことを思い出します。



やわらぎ会歯科診療所において頂く一人お一人に素敵な春が生まれますよう、お祈り致します。

## 三浦敬三メモリアルテイネ大滑降2010(2/14 北海道、札幌市)

三浦敬三メモリアルテイネ大滑降2010に参加しました。私は去年も参加したのですが、去年のレースの前日に私達にスキーのレッスンをして頂く予定だった三浦雄一郎氏は、競技会の飛び出し防止目的に作られたコース脇の大きなバンクに衝突し、3mほど飛ばされて腰を強打し、骨盤4ヶ所と肋骨が折れる全治3ヶ月の大ケガをされました。



三浦雄一郎氏と記念撮影

### 三浦氏の骨折部位



それから1年、三浦氏は驚異的な回復力で回復され、今年の2月14日のレースでは一番目に出走され見事完走、レース後の表彰式では元気な姿を見ることができました。私は、レースのゼッケンにサインを頂き、大切に持って帰りました。

三浦氏によれば、この10年以上毎日のようにエベレスト登山のトレーニングのために足に3~4kgのおもりをつけ、背中に20kgのザックを背負って歩き続けたこと、魚を丸ごと圧力鍋で炊いて骨まで食べたり、キムチ、納豆、果物、豚足、小魚の佃煮、海苔や、セサミン、グルコサミン、コンドロイチン、プロポリス等のサプリメント...こうしたことが、76才になっての骨盤骨折の回復に大きく役に立ったとのことでした。



表彰式の三浦氏



一番にスタートした三浦氏

ちなみに私のレースの成績は、テイネ山の山頂からゴールまでの6kmを9分20秒で、去年より12秒速くなりました。しかし、トップの人は、5分11秒くらいですから、スキーの本場北海道の人達がいかに速いかわかります。

また来年も参加したいと思っています。

理事長 藤田和也

## Photoギャラリー



大滑降のコース図



晴天の手稲スキー場



ペパーミント

## 新人紹介

初めまして。新しく受付に立つ事になった向井陽香です。まだまだ半人前ですが、1日でも早くみなさんに覚えてもらえるように自己紹介をしたいと思います。



私は、平成2年2月5日生まれの20歳です。今年の1月に成人を迎え、振袖を着て成人式に参加しました。その時は友人たちと子供の様にはしゃいで社会人という言葉に無頓着でしたが、ここで働き始めて社会人としての責任などを改めて痛感しました。

実は、私は今まで1度もバイトをした事がなく、接客といえば高校生の時に行った広商デパートなど学校行事としての取り組みだったので、働き始めた頃はどう対応すれば良いのか分からず毎日がとても大変でした。特に、電話対応は最も苦手としていて、みなさんにも迷惑をかけてしまうかもしれませんが一生懸命がんばりたいと思います。

今後の目標は、受付業務はもちろん、みなさんの顔と名前を覚え毎日笑顔で受付に立つ事です。一人前になれるように頑張るのでこれからもよろしくお願いします。

受付 向井陽香

同封していますレセプト(保険診療の明細)のコピーは、当診療で保険診療をお受けになったものです。自由診療のみの方には同封されていません。

患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。 メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成21年2月20日号  
編集発行人 藤田 和也